



19時からパパも子育て

子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。



株式会社サンコーホーム（横手市）

業種：建設業 従業員数：54名

<http://www.sanko-home.co.jp>

創業は昭和10年。横手に本社、秋田と大曲に支店に構える住宅会社。「思い形に。想造設計」をスローガンに、秋田の地域に根ざした家づくりを数多く手がけています。

早めの帰宅を促すチャイムは 家族のきずなを強くする

サンコーホームでは、毎日19時50分になると、社内にチャイム音が響きます。これは、終業時間を過ぎても頑張っている従業員に向けて「20時前には帰ろう」と帰宅を促す合図です。

家づくりでは、お客様が仕事を終えてから来社し、打合せを行う場合も多いそうです。そんな環境のなか同社では、各自で目標をクリアしながら、週2日は休み、可能な限り早く帰宅できる企業を目指す取組が、昨春からスタートしました。チャイムの導入により、勤務時間内で仕事の質を上げようとする気運が社内に広がりました。

「家族」は重要なキーワード。家族の絆を深める家づくりには、それを手がける従業員たちも、自分の家族とゆっくり過ごす時間が大切なのです。



●従業員から
(営業 佐藤さん、営業アシスタント 井上さん)

職場復帰をしやすい環境づくり

「以前は、他の人が仕事をしていると、仕事を終えても帰りづらくて残っている人の姿も多かったけれど、チャイムが導入されてからは、少しずつ変わってきています」と佐藤さん。帰宅後は、3歳になる娘さんが眠るまで、たくさんのおしゃべりをするそうです。

「女性もずっと働ける環境をつくって欲しい、と社長に声をかけていただけたのが嬉しくて」と話す井上さんは、職場復帰をした二人目の女性です。育休明けには、会社の配慮でもう一名のアシスタントが増員されました。「出産前と同じように働きたくても、うまく身体が追い付かないのが本音です。仕事と子育ての両立には、家族や職場のサポートがとても大切です」。母となった女性の視点は、家づくりにおいて存分に発揮されています。



●職場から
(後藤代表取締役)

「量」より「質」を評価したい

昔は遅くまで働くことがかっこいいとか、美徳であるような風潮が世の中にはありましたが、今はもうそんな時代ではありません。仕事の中で重視してもらいたいのは量よりも質です。効率的に仕事を管理して、終わったら早く帰宅する。プライベートの時間も充実させて欲しいと思っています。

想いをかたちにしながら築き上げていく家づくりは、たくさんの家族の笑顔と幸せをもたらす仕事です。「私たちは何のために仕事をするのか?」と考えると、それもやはり自分の家族や大切な人のため。従業員には、私たちの毎日を支えてくれる家族に感謝しながら、仕事でも家庭でも、自分らしい時間を育んでもらいたいです。



効果が見られた点

- ◎目安の時間設定は、仕事の管理とチームワークの強化に効果的。
- ◎家族とともに過ごす時間は、仕事の精度と意欲の向上につながる。